

研究課題名	肝細胞癌に対するレンバチニブ療法の治療継続に関する影響因子の検討
研究の意義・目的	肝細胞癌に対して使用されるレンバチニブは高血圧や蛋白尿、下痢や倦怠感など様々な有害事象によって治療が中止となることが問題となっています。しかし、その治療の継続に関係のある因子については明らかにされていません。そのため、どのような因子を持っている患者さんで治療が継続しやすいかを明らかにすることで、これからのレンバチニブによる薬物療法の質を高めます。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2021年3月31日
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2018年4月1日～2019年12月31日に大阪市立大学医学部附属病院で、肝細胞癌に対してレンバチニブ療法が実施された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【診断名、年齢、性別、体重、手術歴、化学療法歴、臨床検査値等】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学医学部附属病院 薬剤部 柴野 雅仁
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	下記の連絡先に電話またはFAXをして頂くようお願い致します。 大阪市立大学医学部附属病院 薬剤部 研究責任者 柴野 雅仁 電話番号：(06) 6645-2277 FAX：06-6646-0373